



寒地（北海道）に適した、
越冬性のよい
食油向けのナタネ品種。



- 越冬性がよく、含油率が高い北海道向きの品種です。
- 晩播にも適しています。
- 搾油した油には、心疾患に影響するエルシン酸を含んでおらず、食用油として、天ぷら、フライ、生食油等に安心して利用できます。

育成のねらい

北海道は国産なたねの主産地で、全道で約500ha作付けされています。今後、作付け拡大のためには、厳しい冬の寒さによる被害が少なく、播種期を拡大できる晩播適性のある品種が求められています。また、道東の畑作地帯では、小麦と輪作をしやすい冬作物としても寒地向きのなたね品種が求められています。東北農研では、越冬率が良く、晩播適性のあるなたね品種「キタノキrameキ」を育成しました。

栽培上の留意点

- 自家採種は避け、採種圃由来の無エルシン酸が保証された種子を使用し、交雑可能なアブラナ科植物とは十分距離を離して栽培してください。
- 「キザキノなたね」の栽培法に準じ、「畑作地帯におけるなたねの導入法と栽培条件」(北海道、2010)を順守してください。
- 菌核病の発生は「キザキノなたね」と同程度ですが、罹病株率は高い傾向があります。菌核病対策として、過度の密植及び多肥栽培を避け、輪作等の耕種的防除に努めてください。

品種の活用面

- 収穫された種子は、食用菜種油を搾るために活用できます。
- 搾油された搾りカス(ミール)は、有機肥料として利用できます。

栽培特性及び品質



キタノキrameキ



キザキノなたね

越冬後の写真

(北海道総合研究機構十勝農業試験場(北海道芽室町)、2011年4月19日撮影)

北海道総合研究機構十勝農業試験場(芽室町)における試験(2009~2010)の結果

品 種 名	成熟期 (月日)	草丈 (cm)	子実重 (kg/a)	キザキノなたね比 (%)	含油率 (%)	越冬株率 (%)	寒雪害 抵抗性	菌核病 抵抗性
キタノキrameキ(標播)	7.23	180	24.3	116	45.3*	85	かなり強	やや強
キザキノなたね(標播)	7.20	161	20.9	100	39.8	74	強	強
キタノキrameキ(晩播)	7.26	193	31.2	138	44.6	58	—	—
キザキノなたね(晩播)	7.23	159	22.6	100	42.4	36	—	—

* : t検定により、5%水準で「キザキノなたね(標播)」に対して有意差あり。

《種子入手先に関するお問い合わせ先》

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構(略称:農研機構) 企画管理部 運営チーム
TEL.019-643-3443 FAX.019-643-3405

《利用許諾に関するお問い合わせ先》

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構(略称:農研機構) 知財・連携調整課 種苗係
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 TEL.029-838-7390 FAX.029-838-8905

品種に関するお問い合わせは 農研機構東北農業研究センター 企画管理部 情報広報課まで
〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588
<http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/>

東北農研

検索

2014.3

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。